

揖斐川町の「地方創生」を考える

～住民が参加しシンポジウム～

8月9日(日)、揖斐川町中央公民館で、約350人の住民の皆さんが参加し、『住民参加型シンポジウム』揖斐川町の「地方創生」を考える』が開催されました。

全国育樹祭総合アドバイザーでもある浦井史郎氏から、揖斐川町の将来人口見通しなどの現状分析データをもとに、どのような価値観で地方創生を考えたらよいかのヒントをお話しいただきました。続いて、林業、教育、医療、起業の専門家から、各分野での活動事例を交えて揖斐川町の地域資源を活かしたまちの活性化の可能性について話題提供があり、これを受けて参加者も討議に参加し、揖斐川町の課題や今後のあるべき姿についてともに考えました。



▲住民の皆さんも討議に参加

揖斐郡消防協会合同防災訓練

～尊い命を守る為に～

8月23日(日)、大地震を想定とした揖斐川町と揖斐郡消防協会の合同総合防災訓練が、清水小学校をメイン会場として実施されました。

訓練は、駿河湾と紀伊半島南東沖を震源とする地震が連続発生し、揖斐川町で震度6強を観測し、家屋が倒壊したり、道路や橋が壊れたりする被害がでたという想定で行われました。

消防団員の非常招集や住民の避難訓練のほか、道路に流出した土砂の除去、初期消火の訓練、災害救助犬のデモンストラーションなどを行い災害への意識・対応力を高めました。



▲避難を行う地域住民の皆さん



▲ヘリコプターによる救助訓練のようす



▲初期消火訓練のようす

水道施設を美しく

～清掃奉仕作業～

8月20日(木)揖斐川町内の水道工事店15社が、町内の水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

毎年行われているこの奉仕作業、この日は15人が参加して早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈を行いました。

あいにくの雨でしたが、皆さんの協力によって施設周辺は、美しくなりました。

清掃奉仕活動に参加された皆さんありがとうございました。



▲貯水池周辺の清掃のようす

揖斐川伝統芸能フェスティバル

伝統の舞台を披露

8月22日(土)、揖斐川町中央公民館で伝統芸能フェスティバルが開催されました。

町の伝統文化に理解を深め、継承につなげるために毎年行われ、今回が第9回目の開催となりました。

第一部は、上町組による子ども歌舞伎「狐葛の葉後日譚」が披露され、熱演した子ども役者には観客から大きな拍手が送られました。

第二部は、春日上ヶ流太鼓踊り保存会による太鼓踊りで、勇壮で優雅な太鼓踊りで観客を魅了しました。

第三部は、いび祭り子供歌舞伎保存会による「鏡山旧錦絵」で、義太夫と三味線で出演した育成塾の生徒さんは、練習の成果を披露しました。



▲第一部 上町組 狐葛の葉後日譚



▲第三部 いび祭り子ども歌舞伎保存会 鏡山旧錦絵



▲第二部 春日上ヶ流太鼓踊り保存会 太鼓踊り

お十七夜コンサート

篠笛と二胡が奏でる静寂と躍動

8月17日(月)、谷汲サンサンホールで、「お十七夜コンサート」が開催されました。

参道の商店主らでつくる谷汲門前街並づくり委員会が、町や参道の賑わいを取り戻そうと始めたこのイベントは、今回で10回目を迎えました。

口コミなどで広がり、年々盛り上がりを見せる野外コンサートですが、去年に続きあいにくの雨。会場を谷汲サンサンホールに移して開催しました。

今回は、二胡奏者である玉木篤洞さんと玉木さんの家族3人で構成された二胡トリオと、篠笛・能管奏者の福原寛さんが演奏を行いました。

二胡と篠笛が奏でる繊細ながらも力強い音色に、会場の誰もが息をのんで聞き入っていました。



▲福原さんによる演奏

少年の主張岐阜県大会で受賞

わたしの主張2015

8月7日(金)、可児市文化創造センターで開催された「第37回少年の主張岐阜県大会」わたしの主張2015」において、西濃地区代表として出場し、優秀賞を受賞された揖斐川中学校3年生の末永千恵さんと坂内中学校2年生の山上海音さんが、8月25日(火)、揖斐川町役場に受賞の報告に訪れました。

2人は大会において、自分の家族や学校を大切にしたいという思いを堂々と発表されました。

宗宮町長は、「受賞おめでとう。これからも、自分の家族や地域を大切に、将来は、町を担う力になってくれることを期待しています」と受賞を称えました。



▲左から教育長、町長、末永さん、山上さん、先生方